大野市南六呂師におけるチャイロスズメバチの記録

大宮正太郎[*1]

要旨：筆者は 2019 年 10 月 31 日に大野市南六呂師でチャイロスズメバチ 1 ♀を採集した.
キーワード：昆虫，ハチ目，スズメバチ科

Shotaro OMIYA[*1]. 2021. A record of *Vespa dybowskii* André in Minamirokuroshi, Ono-shi, Fukui prefecture, Japan. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Concervation Center) 24:35-36.
Vespa dybowskii André was collected in Minamirokuroshi, Ono-shi, Fukui prefecture, Japan, on October 31th, 2019.
Key words: Insect, Hymenoptera, Vespidae

チャイロスズメバチ *Vespa dybowskii* André（以下，「本種」）は，ハチ目スズメバチ科（Hymenoptera：Vespidae）に属するスズメバチ類であり，日本産の他のスズメバチ類によく見られる黄色と黒色のカラーリングではなく，頭部と胸部が赤褐色で，腹部が黒色であるという特徴的な外見を持つ（図１）．山地性で，国外ではウスリー，中国等に分布し，国内では北海道，中部以北の本州に分布するとされてきたが（平嶋・森本 2008），近年は岡山県や広島県，島根県といった西日本でも記録が報告されている（加藤ほか 2009；皆木 2018，2019，2020）．

本種は 2020 年版環境省レッドリストに掲載はされていないが（環境省 2020），福井県においては 2002 年版のレッドデータブックにおいて「県域絶滅危惧Ⅱ類」として掲載され（福井県福祉環境部自然保護課編 2002），その後のレッドデータブック改訂の際の調査により新たな生息地が何か所も見つかったことから，2016 年版福井県レッドデータブックではランクダウンし「要注目種」として掲載されている（福井県安全環境部自然環境課編 2016）．

本種は同じスズメバチ属のキイロスズメバチ *V. simillima xanthoptera* やモンスズメバチ *V. crabro flavofasciata* に労働寄生するとされているが，そのうちモンスズメバチについては 2020 年版環境省のレッドリストに「情報不足」として掲載されている（環境省 2020）．2016 年版福井県レッドデータブックではモンスズメバチについては掲載が無いが（福井県安全環境部自然環境課編 2016），記録数も少なく生息状況の実態については不明であるため，寄主とする本種と併せて継続した注視が必要である．

筆者は今回，本種を大野市南六呂師で採集したので次のとおり報告する．

１♀，福井県大野市南六呂師 福井県自然保護センター 自然観察の森 自然観察小屋，2019 年 10 月 31 日，筆者採集・福井県自然保護センター保管．

本種は 2019 年 9 月 15 日に大野市南六呂師にある福井県自然保護センターの自然観察の森内にある自然観察小屋に営巣しているのが確認された（図２）．巣は建物の外側には見られず，窓枠の上に隙間が空いており，そこに盛んに本種が集まっている様子が見られたことから，外壁の隙間に営巣していると推察された（図３）．確認したのは本種のみで，寄主となったスズメバチ類の種名は不明である．この小屋は自然観察のために整備された遊歩道沿いにあるため，散策する人が近づいて刺されたりしないよう注意書きとロープで囲う措置がなされ，その後 10 月 31 日まで営巣していたが，野外活動実施の際に支障がでてきたことから，殺虫剤の噴霧により駆除された．

南六呂師では過去にも記録があり（羽田 1999，2005），当地におけるこれまでの生息状況の変化は少ないと考えられるが，今後環境変化が進み営巣しなくなる可能性もあるため，継続観察が必要である．

引用文献

福井県福祉環境部自然保護課(編)．2002．福井県の絶滅のおそれのある野生動物：福井県レッドデータブック（動物編）2002．福井県福祉環境部自然保護課，福井．

*　連絡・別刷請求先（Corresponding author）E-mail: s-oomiya-ov@pref.fukui.lg.jp
1　福井県自然保護センター　〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2
Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.
羽田義任. 1999. 室内へ飛び込んできたチャイロスズメバチ. 福井虫報 24：49.
羽田義任. 2005. チャイロスズメバチの生息場所の記録. 福井虫報 36：13-14.
平嶋義宏・森本桂 監修. 2008. 新訂原色昆虫大圖鑑 第Ⅲ巻（トンボ目・カワゲラ目・バッタ目・カメムシ目・ハエ目・ハチ目他）. 北隆館, 東京.
環境省. 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. http://www.env.go.jp/press/107905.html（参照日 2020 年 12 月 20 日）.
加藤 学・片岡博行・岩井貴史・瀬島翔馬・奥島雄一. 2009. 岡山県でのチャイロスズメバチの分布と生態記録―西日本の分布情報を含めて―. 倉敷市立自然史博物館研究報告 24：35-42.
皆木宏明. 2015. 広島県庄原市で採集したチャイロスズメバチの記録. 島根県立三瓶自然館研究報告第 13：71-72.
皆木宏明. 2018. 島根県で初確認されたチャイロスズメバチについて. 島根県立三瓶自然館研究報告第 16：67-68.
皆木宏明. 2019. 三瓶山で確認されたチャイロスズメバチ. 島根県立三瓶自然館研究報告第 15:55.
皆木宏明. 2020. 島根県で確認されたチャイロスズメバチの営巣記録２例. 島根県立三瓶自然館研究報告第 18：121-123.

図１．チャイロスズメバチ（大野市南六呂師，2019 年 10 月 31 日，筆者採集・福井県自然保護センター保管）

図２．チャイロスズメバチが営巣していた自然保護センター敷地内の自然観察小屋（大野市南六呂師，2019 年 9 月 15 日筆者撮影）

図３．観察小屋の窓枠付近でチャイロスズメバチがたむろする様子（大野市南六呂師，2019 年 9 月 15 日筆者撮影）